

2022年 シラバス

| | | | |
|-------|------|----------|---------|
| 履修規定 | 必修課目 | 授業課目 | 理容実習 |
| 履修学年 | 2年 | コース | 理容科 |
| 担当教員 | 鞍成和恵 | 経歴 | 理容師 美容師 |
| 担当教員 | 濱田幸次 | 経歴 | 理容師 美容師 |
| 授業時間数 | 542 | 授業方法及び場所 | 実習 校内 |

1. 教科・科目の目標（到達目標）

- ・理容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身につけさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させる。
- ・個々の客の要望に応じた理容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身につけさせる。

2. 学習内容

- ・職業訓練的技術として、ヘアカラーリング、各種マッサージ技術の習得を目指す。
- ・モデルウィッグを使用し、理容師国家試験課題について、設定した時間にて技術の習熟度を合格時レベルに到達するよう鍛錬する。
- ・各技術において、モデルウィッグでの基本実習を反復的に行う。

3. 学習方法

- ・理容師国家試験課題については、モデルウィッグを使用し、設定した時間に技術の習熟度向上を目指す。
- ・各技術において、基本的姿勢、技術、技法を身につける為、モデルウィッグもしくは相モデルでの基本実習を反復的に行う。
- ・講義形式を基本とし、国家試験に向けた演習授業も適宜取り入れる。

4. 学習評価

- ・国家試験対策としてミディアムカット、顔面処理の模擬試験を評価する。
- ・各項目ごとに、到達ライン（時間、手順）を設定し評価する。
- ・用具類に『知識』『持ち方』『操作』の技術習得を評価する。
- ・実習態度、出欠状況を評価する。

| | | | |
|-----|---|--------------|--|
| 教科書 | 理容実習1・理容実習2 理容技術理論1・理容技術理論2 技術の解説（日本理容美容教育センター発行） | 参考文献 副教材等 | DVD（日本理容美容教育センター発行） オリジナルプリント 実習道具 |
|-----|---|--------------|--|

学習計画

| 月 | 学習項目 | 学習内容・方法 |
|-----------------|--|---|
| 4月 5月 | パーマメントウェーブ アイアニング | ワインディング基本（コーム一の持ち方・扱い方） モデルウィッグによるアップシステム・ダウンシステム実習 特殊ロッドによるワインディング パーマメントウェーブの手技と注意点説明 アイロンの持ち方・扱い方・手入れ法 モデルウィッグによるアイロン技術体験 （DVD活用）（オリジナルプリント活用） |
| 6月 | ヘアクリニック クリニックマッサージ | 各種手技法を相モデルで技術体験、反復復習 |
| 7月 | シェービング カッティング | モデルウィッグ（相モデル）で反復復習 （時間設定は国家試験と同じとする） |
| 9月 | ハンドケア フットケア | 相モデルで技術体験 フットケア機器を使用し技術体験 |
| 10月 | ヘアカラーリング 理論と技法 | モデルウィッグによるカラーリング実演 |
| 11月 | シェービング カッティング ヘアセッティング | 校内コンテスト ・シェービング・整髪 ・カッティング（セニングカット含め25分） （時間設定は国家試験と同じとする） |
| 12月 1月 2月 | シェービング カッティング ヘアセッティング （国家試験対策） | モデルウィッグ（相モデル）で反復復習 （時間設定は国家試験と同じ） 整髪料の塗布・分髪・ブラッシング （時間設定は国家試験と同じ） |
| 3月 | まとめ | 総括（職業訓練的技術） |